

# ものれーる

VOL.10 2006.6発行



武蔵村山市 都市整備部  
まちづくり課  
042-565-1111(代表)

## 多摩地域における都市計画道路の整備方針 (第三次事業化計画)の策定



東京都では、多摩地域における都市計画道路を計画的かつ効率的に整備するため、これまでの社会状況等の変化も踏まえ、28市町と共同で検討組織を設け検討を進めてきました、このたびその計画がまとまりました。

【詳細については下記 HP をご覧ください】 東京都都市整備局 HP

<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp>

### 1 整備方針の特徴

平成18年度から10年間で優先的に整備すべき路線(優先整備路線)として多摩地区で162か所約135kmを選定しています。

多摩の地域特徴を踏まえた新たな道路整備のあり方として「環境軸の形成」「都県境を越えた道路網の拡充」について提案しています。



図1 新青梅街道線の環境軸イメージ

### 2 新青梅街道「優先整備路線」選定の意義

- ・新青梅街道は、慢性的な道路渋滞の発生や大型自動車交通量の増加から、かねてから拡幅再整備が望まれていた路線です。
- ・平成17年3月には立川東大和線から都道166号線までの区間について、幅員を30mとする都市計画変更がなされました。
- ・今回「多摩地域における都市計画道路の整備方針」にて優先整備路線に選定されたことにより新青梅街道が今後10年間のうちに優先的に整備すべき路線として位置づけられ、拡幅再整備の事業化に向け確かな一歩を踏み出すこととなります。



## 整備イメージ案の提示

沿道整備に関する全国の事例を収集し、これを参考に都市核ゾーン、サブ核ゾーン及びみどりの拠点ゾーンごとに、整備イメージを提案しました。



## 今後の課題

H17調査で提示した整備イメージ案を実現していくために必要な作業として、今後、「環境軸に関する具体的な整備計画」を定め、あわせて「拡幅整備の手法の検討」を挙げました。また、「関係権利者の意向把握」や「関連する都市計画の検討」の必要性にも言及しました。

## 3 今後の方針

H17調査の課題を踏まえ、また東京都や隣接市町の意見を考慮し、新青梅街道拡幅再整備の実現につながるよう、18年度も引き続き調査を進めてまいります。

### 調査書の閲覧

「多摩モノレール関連都市計画変更調査 新青梅街道沿道環境形成指針策定に関する基礎調査報告書（本編）」は都市整備部まちづくり課窓口で閲覧できます。

調査書「概要版」は今後、武蔵村山市ホームページ上に掲載する予定です。

## 「環境軸」とは？ ～「環境軸基本方針」の策定について～

東京都では、「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」で提示した「環境軸」について、その提案や方向性を示す「環境軸基本方針」を、整備方針とあわせて発表しました。

- ・ 同基本方針では、環境軸の形成効果や公民の役割分担に言及するとともに取組みの方向が示されています。
- ・ なお、パイロット地区としてあげられた3地区に、「新青梅街道沿道地区」も含まれています。



- ・ 今後のスケジュールとしては、平成18年度にガイドラインを設定し、平成19年度以降しくみの充実等の具体化を図っていくとしています。

MM シャトル&多摩都市モノレールに乗って



## 歴史と自然を訪ねて初夏の武蔵村山へ



野山北公園自転車道（廃線跡のトンネル）

昭和のはじめ、東京の水がめ「山口貯水池」（狭山湖）建設工事のために砂利・材料運搬用軽便鉄道が羽村から武蔵村山を通り、山口貯水池堤防まで敷設されました。今でも当時の軌道跡にトンネル群を見ることができます。

幻の最新機関車音「テガテガ」が聞こえてきそうな軌跡を歩きながら、里山民家や数々の史跡と伝説に彩られた村山郷を探訪してみませんか。



### みなさんも

MM シャトル&多摩都市モノレールを大いに利用しましょう。

交通渋滞緩和 交通騒音減少 排気ガスによるCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）を減らし、人に優しく・安全な街を・自然環境を大切にする街にするため、公共交通機関の積極的利用をお願いします

多摩モノレールの積極的な利用により、市内早期延伸の実現を！！

「ものれーる」に対するご意見・ご感想を是非お寄せください。

Eメールでの投稿 [m-murayama@city.musashimurayama.tokyo.jp](mailto:m-murayama@city.musashimurayama.tokyo.jp)